

第 4 次京田辺市総合計画

『中期まちづくりプラン』重点プロジェクト（素案）

（計画期間:令和 6 年度～令和 9 年度）

目次

I. 次の世代を育てるこどもまんなかのまちづくり	3
II. つながりと安心のまちづくり	5
III. 持続可能で魅力ある都市づくり	7
IV. 情報発信と効率的な行財政運営	9

▶重点プロジェクトとは

都市像である「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、基本構想の方向性に沿った「まちづくりプラン」の施策事業を展開していくなかで、今後4年間で重点的に取り組むプロジェクトのことです。

市長の政策集における重点政策を基に、ワークショップなどの市民の意見を踏まえ、「まちづくりプラン」施策体系の分野を横断して戦略的、重点的に取り組むため、「3つのプロジェクト」と「+1」にまとめたものです。

▶重点プロジェクトと施策体系との関係

重点プロジェクト	まちづくりプラン施策体系	〈1〉 安心・安全	〈2〉 緑	〈3〉 健康	〈4〉 文化・教育	〈5〉 田園都市	〈6〉 市民協働・ 行財政運営
重点プロジェクトⅠ 次の世代を育てることもまんなかのまちづくり				○	○		
重点プロジェクトⅡ つながりと安心のまちづくり		○		○	○		○
重点プロジェクトⅢ 持続可能で魅力ある都市づくり			○			○	
重点プロジェクト+ 1 情報発信と効率的な行財政運営							○

■関連する主なSDGs



【目的・ねらい】

- 「こどもまんなか社会」の実現に向け、一体的で切れ目ない子ども・子育て支援を推進し、子どもや若者、子育て世帯をはじめ、誰もが住んでみたい、住み続けたいと感じられるまちづくりを進めます。
- 多様な保育・教育資源を活用し、待機児童を発生させない充実した保育環境を整備するとともに、児童・生徒数の偏在是正や食育等の推進などによる質の高い教育の実現と、学童保育のサービス向上を図ります。

■市民・地域・事業者とともに進めたい取組み

○家族で楽しめる子ども中心のイベント、子どもが安心して過ごすことができる空間づくり、子どもの見守りなど

■ 成果指標

指標名	現状	目標値
子育て支援に関する市民満足度	64.8% (R4(2022).7)	↗ ※増加させる (R10(2028).3)
待機児童数	0人 (R4(2022).4)	0人 (各年4月1日)
教育に関する市民満足度	69.4% (R4(2022).7)	↗ ※増加させる (R10(2028).3)

■ 事業メニュー

	アクション	取組概要	担当課
「こどもまんなか社会」の実現	1 一体的で切れ目ない子ども・子育て支援の推進		
	2 待機児童を発生させない保育環境の整備		
	3 保育サービスの充実		
	4 教育環境の向上		
	5 教育内容の充実		
	6 学童保育の充実		

■関連する主なSDGs



【目的・ねらい】

- 人と人とのつながり強化に向けて、市民が身近なまちの課題を自分の事としてとらえ、共に地域の課題を解決できるよう、市民協働を推進します。文化・芸術やスポーツによるまちの魅力づくりを進めるとともに、市民まつりの開催などを通じて人と人との絆づくりを進めます。
- 住み慣れた地域で安心できる暮らし実現に向けて、だれもが安心して住み続けられる全世代型の支え合いシステムを構築し、年齢を重ねたり、障がいがあったりしても、住み慣れた地域で活躍でき、健康に暮らし続けられるまちづくりを進めます。

■市民・地域・事業者とともに進めたい取組み

- 地域課題の解決、文化・スポーツ活動の推進といった「都市格」を高めるための取組み、文化活動団体間の連携、大学と地域の連携など
- 高齢者や障がいのある人など、だれもが安心して暮らせるよう互いに支え合うことのできる地域づくり、自主防災組織と連携した防災訓練の実施、防災・減災に対する意識の啓発、防犯啓発活動や防犯カメラ設置など

※都市格…まちの魅力や豊かさに加え、文化活動等による市民の活力やまちへの愛着が重なることで形成されるもの

■ 成果指標

指標名	現状	目標値
市民参画に関する市民満足度	52.5% (R4(2022).7)	↗ ※増加させる (R10(2028).3)
高齢者福祉、障がい者福祉に関する市民満足度	63.1% (R4(2022).7)	↗ ※増加させる (R10(2028).3)
防災・減災に関する市民満足度	67.4% (R4(2022).7)	↗ ※増加させる (R10(2028).3)

■ 事業メニュー

	アクション	取組概要	担当課
人と人とのつながり強化	1 市民協働の推進		
	2 文化・芸術・スポーツ活動の推進		
	3 絆づくりの推進		
住み慣れた地域で安心して暮らす実現	4 地域ぐるみの支え合いづくり		
	5 市民との連携による防災・危機管理体制の充実		

■関連する主なSDGs



【目的・ねらい】

- 未来に向けて持続可能なまちを目指して、甘南備山をはじめとした緑豊かな自然環境や街なかの公園などを生かし、身近に自然を感じることでできる緑あふれるまちづくりを推進します。また、家庭や事業所における地球温暖化対策の推進や、環境負荷の少ない可燃ごみ広域処理施設の整備を推進します。
- 都市基盤の整備によるまちの魅力向上を目指して、自然と調和したコンパクトな都市構造の形成を進めます。交通利便性に優れた利点を生かし、JR京田辺駅・近鉄新田辺駅周辺では、文化拠点機能を持った新市街地整備と、駅前の再整備によって中核拠点の整備を進めます。
- 快適な移動・交通環境の整備を進めるとともに、新名神高速道路の全線開通に向け、企業立地のための基盤整備などを推進します。

■市民・地域・事業者とともに進めたい取組み

- 地球の未来を考えた環境に優しい暮らし・事業活動の実践、市民と市内企業との交流、公共交通の利用促進など
- 身近な公園・緑地の維持管理など緑あふれるまちなみの形成など

■ 成果指標

指標名	現状	目標値
市民の定住意向	88.4% (R4(2022).7)	↗ ※増加させる (R10(2028).3)
自然環境、緑に関する市民満足度	66.1% (R4(2022).7)	↗ ※増加させる (R10(2028).3)
市内温室効果ガス排出量	31.4 万 t-CO ₂ (R1(2019)年度)	26.2 万 t-CO ₂ 以下 (R9(2027)年度)
居住誘導区域内の人口密度	77.4人/ha (R5(2023).3)	→ ※維持する (R10(2028).3)

■ 事業メニュー

	アクション	取組概要	担当課
未来に向けて持続可能なまちづくり	1 緑あふれるまちづくりの推進		
	2 循環型・低炭素社会の構築と地球温暖化対策の推進		
都市基盤の整備によるまちの魅力向上	3 魅力あるコンパクトシティの推進と新たな都市づくり		
	4 力強い産業の創出と地域経済の活性化		
	5 快適な移動・交通環境の整備		

■関連する主なSDGs



【目的・ねらい】

- 市の情報発信を充実させ、市政をより開かれたものとする事で、市民と市政の関係性を一層強化します。
- 持続可能な行財政運営を推進するため、デジタル技術の活用やPDCAサイクルに基づく事業評価、新たな財源確保、歳出削減などの行財政改革により、効率的でスピーディーな行財政運営を進めます。

■市民・地域・事業者とともに進めたい取組み

- 市SNSの利活用、まちの魅力発信、マイナンバーカードの利用推進など

■ 成果指標

指標名	現状	目標値
市SNSを利用するユーザー数	12,769人 (R5(2023).3)	18,800人 (R10(2028).3)
行政改革実行計画に掲げる事業の達成状況		100% (R10(2028).3)
重点プロジェクトの達成状況	92% (R5(2023).3)	100% (R10(2028).3)

■ 事業メニュー

	アクション	取組概要	担当課
情報発信と効率的な行財政運営	1 効果的な情報発信		
	2 DXによる効率的・効果的な行政の推進		
	3 行財政改革の推進		